池田地区の地域づくりのこれまで

令和３年

〇地域づくり講演会「実践に学ぶこれからの地域づくりへのヒント」
　高崎経済大学教授の櫻井常矢氏による「地域づくり講演会」の参加をきっかけに、これからの地域づくりに向けた機運が高まり、池田地区として市の「地域づくりモデル地区」に立候補しました。

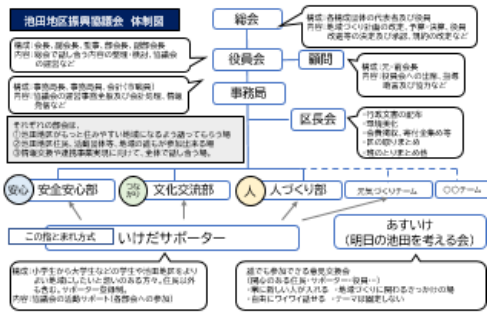
〇ミニ座談会の開催
　地域の各種団体の代表者や興味のある人に集まってもらって、ミニ座談会を開催。池田地区の現状や、これまでの取組のこと、大切にしていきたいこと、将来像などについて話し合いを行いました。

令和４年

〇「あすいけ」開催

　住民の皆さんに地域づくりの必要性を感じてもらうため、明日の池田を考える会、通称「あすいけ」という大座談会を全３回開催しました。
　それぞれテーマを設定し、地域の良いところ、頑張っているところ、どのような地域にしたいのか、その実現方法などをグループに分かれて真剣に話し合いました。

　座談会を３回開催した後、関係者で話し合いを行い、今後重点的に進める内容として、将来像づくり、健民運動会の見直し、地域資源の調査などが決まりました。
　将来像を「優しさあふれ　人が輝き　誰もが生きがいをもって暮らせるまちへ」とし、キャッチフレーズを「笑顔でつながるべぇ～いけだ」とし、振興協議会に部会を設置することになりました。



令和５年

令和５年度は振興協議会を中心に、３つの部会、「安心安全部会」「文化交流部会「人づくり部会」として、地域内の各種団体と連携を図りながら、アンケート調査、ＩＫＥＤＡ区民フェスの開催、いけだサポーターの募集、地域づくり計画の策定を行いました。

〇ＩＫＥＤＡ区民フェス

今までの運動会では競技志向が強くなかなか人集めが大変だったことから、名称と内容をリニューアルしました。子どもからお年寄りまで参加出来る内容とし、運動競技のみならず、防災、福祉、健康ブースを用意しました。フィナーレは餅投げで大盛り上がりでした。

〇中学生以上全住民アンケート

中学生以上の地域住民の声を聞くための方法として、中学生以上全住民アンケート実施しました。調査内容の検討は各部会で行い、や配布、回収を地区役員さんにお願いしました。

回収したアンケートは地域の皆さんに協力していただきました。

集計されたアンケートは分析を行い、アンケート結果報告会を開催しました。若い人の地域への愛着度が低いことや、車の運転や公共交通の心配から移動に関することが不安。地域活動へ興味があるものの参加率が低いなどの特徴が挙げられました。

〇いけだのお宝探し

話し合いの中から

地域には地域の人も知らない魅力的なことがたくさんあります。その地域資源の再発見しようと、まち歩き、「いけだのお宝探し」を行いました。普段気づかなかった地域の資源に気づきや学びがありました。